

FCTC第9,10条『たばこ製品の規制及び情報開示』に基づいて、研究を進めている

WHOたばこ研究室ネットワークと連携したたばこ製品の分析

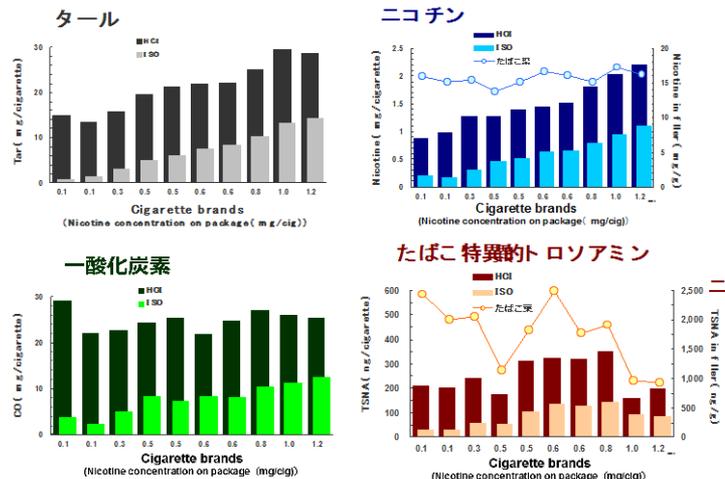
紙巻たばこの有害化学物質分析法の国際標準化

WHOが優先的に対応する必要のある有害化学物質について分析法の開発し、標準作業手順書（SOP）を作成している。

これまでWHO TobLabNetに参画し主流煙のベンゾ[a]ピレン、たばこ特異的ニトロソアミン、たばこ葉のニコチン、アンモニア、プロピレングリコール類のSOPを作成した。

今後は、電子タバコ、非燃焼・加熱式たばこの国際標準化手法の確立を推進する。

国産たばこ銘柄の分析



喫煙者・受動非喫煙者のバイオマーカー

曝露マーカー

たばこ特有のニコチン代謝物のコチニン、3-ヒドロキシコチニンや発がん性物質たばこ特異的ニトロソアミン代謝物の分析法の開発。それ以外にも多環芳香族炭化水素類と揮発性有機化合物の代謝物の分析法の開発をしている。

影響のマーカー

酸化ストレスマーカーの8-ヒドロキシデオキシグアノシン、8-イソプロスタン分析法の開発

今後は、日本人喫煙者・受動喫煙者の実態調査を行う

新規たばこ製品の分析

